

カリキュラム(第一号研修・第二号研修)

1 基本研修(講義)

(単位:時間)

大項目	中項目	必要時間 (注1)	実施時間 (注2)
1 人間と社会		1.5	1.5
	(1) 個人の尊厳と自立	0.5	0.5
	(2) 医療の倫理	0.5	0.5
	(3) 利用者や家族の気持ち、説明と同意	0.5	0.5
2 保健医療制度とチーム医療		2	2
	(1) 保健医療に関する制度	1	1
	(2) 医行為に関係する法律	0.5	0.5
	(3) チーム医療と介護職との連携	0.5	0.5
3 安全な療養生活		4	4
	(1) たんの吸引や経管栄養の安全な実施	2	2
(2) 救急蘇生法		2	2
4 清潔保持と感染予防		2.5	2.5
	(1) 感染予防	0.5	0.5
	(2) 職員の感染予防	0.5	0.5
	(3) 療養環境の清潔、消毒法	0.5	0.5
	(4) 滅菌と消毒	1	1
5 健康状態の把握		3	3
	(1) 身体・精神の健康	1	1
	(2) 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5	1.5
	(3) 急変状態について	0.5	0.5
6 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論		11	11
	(1) 呼吸のしくみとはたらき	1.5	1.5
	(2) いつもと違う呼吸状態	1	1
	(3) たんの吸引とは	1	1
	(4) 人工呼吸器と吸引	2	2
	(5) 小児の吸引について	1	1
	(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5	0.5
	(7) 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1	1
	(8) たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認	1	1
	(9) 急変・事故発生時の対応と事前対策	2	2
7 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説		8	8
	(1) たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1	1
	(2) 吸引の技術と留意点	5	5
	(3) たんの吸引に伴うケア	1	1
	(4) 報告及び記録	1	1
8 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論		10	10
	(1) 消化器系のしくみとはたらき	1.5	1.5
	(2) 消化・吸収とよくある消化器の症状	1	1
	(3) 経管栄養法とは	1	1
	(4) 注入する内容に関する知識	1	1
	(5) 経管栄養実施上の留意点	1	1
	(6) 小児の経管栄養について	1	1
	(7) 経管栄養に関係する感染と予防	1	1
	(8) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5	0.5
	(9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1	1
	(10) 急変・事故発生時の対応と事前対策	1	1
9 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説		8	8
	(1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1	1
	(2) 経管栄養の技術と留意点	5	5
	(3) 経管栄養に必要なケア	1	1
	(4) 報告及び記録	1	1
合計時間		50.0	50

(注1) 中項目の時間配分は参考例

(注2) 大項目の必要時間数を確保すること。

カリキュラム(第一号研修・第二号研修)

2 基本研修(演習)

行 為		必要回数	実施回数
たんの吸引	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)	5回以上	5回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5回以上	5回以上
	経鼻経管栄養	5回以上	5回以上
救急蘇生法		1回以上	1回以上

3 実地研修

(1) 第一号研修 喀痰吸引及び経管栄養の全て(下記の全ての行為について修了)

行 為		必要回数	実施回数
たんの吸引	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	10回以上	10回以上
	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	20回以上
	経鼻経管栄養	20回以上	20回以上

(2) 第二号研修 各喀痰吸引等行為の個別研修(下記のいずれかの行為について修了)

行 為		必要回数	実施回数
たんの吸引	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	10回以上	10回以上
	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)	20回以上	20回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	20回以上
	経鼻経管栄養	20回以上	20回以上